



案に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	(仮称)駿河区豊昌6丁目マンション新築工事	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★
------	-----------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.9	/5	がんばろう
"災害に強いしづおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5	がんばろう
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.1	/5	がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.6	/5	がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
		がんばろう 3 点未満	

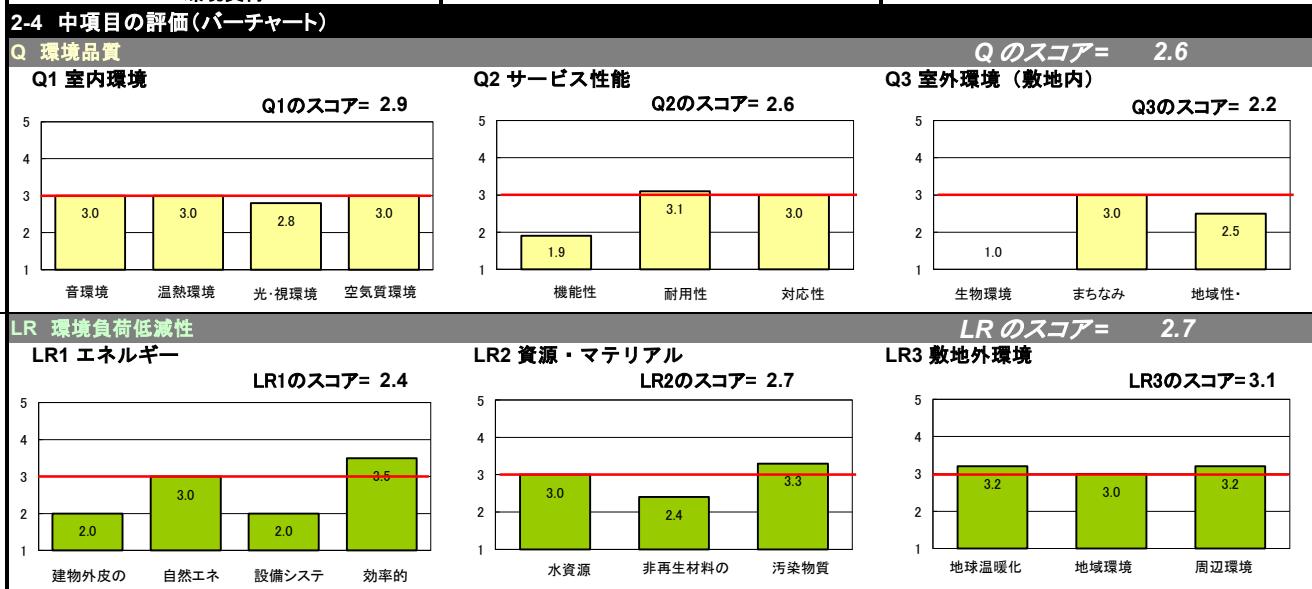
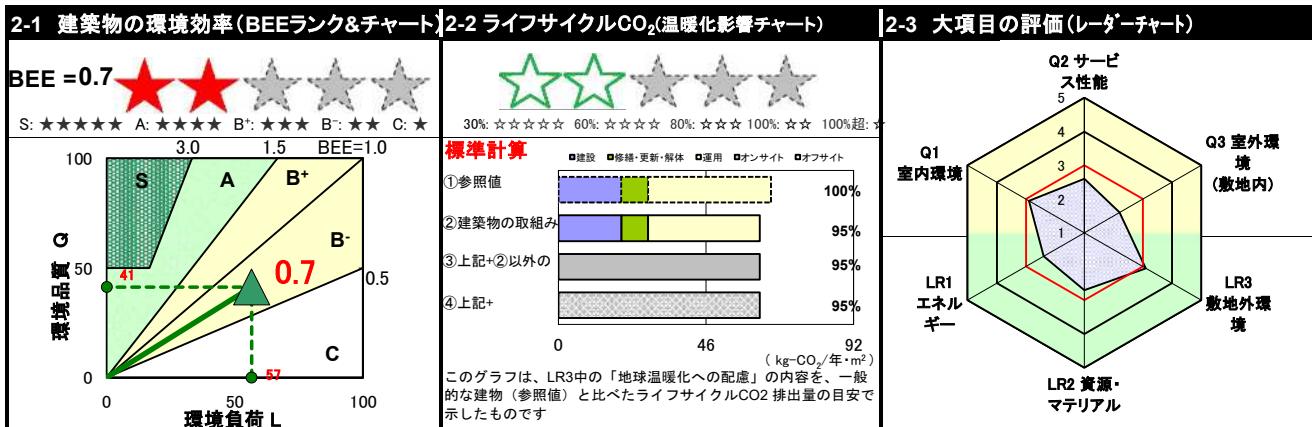
3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	内訳対応項目
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)	得点 2.9
■室内環境対策 ((①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④主要な用途上位3種にB以上を使用しEは不使用である。 ④消火ポンプの更新必要間隔は20年である。 ④タイル張りは耐用年数40年である。 ④天井仕上げ材ビニールクロス貼の耐用年数は30年である。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 軸体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
■室外環境(敷地内)対策 ((⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤緑地づくりを行い自生種シマトネリコが現存している。	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 ((⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨BEI=0.88 ⑩各階EPS内に、各住戸の電力量計があり、エネルギー消費に関する表示機器を採用している。	LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制
■資源・マテリアル対策 ((⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑬発泡剤不使用。(グラスウール断熱材)	LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雜排水等利用システム導入の有無 2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.2 ⑫ 既存建築軸体等の継続使用 2.3 ⑫ 軸体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.5 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 2.6 ⑫ 有害物質を含まない材料の使用 3 3.1 ⑬ 消火剤 3.2 3.2.1 ⑬ 断熱材 3.2.2 ⑬ 冷媒 3.2.3 ⑬
■敷地外環境対策 ((⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑯ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物に対して95%である。	LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしづおか"の形成(Disaster)	得点 2.8
■サービス性能対策 ((⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)	得点 2.1
■サービス性能対策 ((⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑰各階高は2.96m以上	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑳ 3.1.2 ⑳
■室外環境(敷地内)対策 ((㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑防犯性に配慮している。	Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)	得点 2.6
■室外環境(敷地内)対策 ((㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) ㉒周辺のまちなみや景観に対して、標準的に配慮されている。	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 2 ⑦ まちなみ景観への配慮 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 ((㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善) ㉕隣等間隔指指数は1.03であり風を回復させるような工夫がみられる。	LR-2 2 2.5 ㉕ 持続可能な森林から産出された木材 LR-3 2 2.2 ㉖ 温熱環境悪化の改善

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)駿河区登呂6丁目マンション新築工事	階数	地上5F
建設地	静岡県静岡市駿河区登呂6丁目27-1,27-2,27-3,27-4,27-5,27-6,28-1,28-2	構造	RC造
用途地域	市街化区域、準工業地域	平均居住人員	99人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年9月29日
敷地面積	1,785 m ²	作成者	小林 敏宏
建築面積	550 m ²	確認日	
延床面積	2,473 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果である。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
住戸の主要居室の采光率は2.7%である。 各階高は2.96m以上である。 消火ポンプの更新必要間隔は20年である。 タイル張りは耐用年数40年である。 天井仕上げ材ビニルクロス貼の耐用年数は30年である。	各階高は2.96m以上である。 消火ポンプの更新必要間隔は20年である。 タイル張りは耐用年数40年である。 天井仕上げ材ビニルクロス貼の耐用年数は30年である。	周辺のまちなみや景観に対して、標準的に配慮されている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEI=0.88である。 各階EPS内に、各戸の電力量計があり、エネルギー消費に関する表示機器を採用している。	発泡剤不使用。(グラスウール断熱材)	隣等間隔指数は1.03であり風を回復させるような工夫がみられる。 十分な量の駐車場・駐輪場を確保している。

- CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- 「ライフケイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- 評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される